

【Report】チャレンジ・胃がん撲滅に向けて

1994年からピロリ菌の 除菌を推奨、独自の除菌方法で 成功率100%を達成

東京都豊島区

医療法人社団晴博会 あんこうメディカルクリニック

院長 安康 晴博

H. pylori (ピロリ菌) 感染症認定医 (認定医番号00040号)



胃の病気の根源を断つことを第一義としてピロリ陽性の方には除菌を推奨している安康晴博先生は、オリジナルの除菌方法で除菌率100%を達成しているが、禁煙しない人には除菌しないなどこだわりも強い。しかし、これらはすべて患者さんのためを思っていること。「安心・安全・癒しがモットー」という安康先生の「胃がん撲滅」に向けた思いを聞いた。

安康 晴博 略歴

1991年東京女子医科大学消化器病センターに入局後、安康メディカルセンター副院長・外科医長・消化器科医長。2007年あんこうメディカルクリニック開院。資格は日本外科学会（認定医）など。

胃の病気の根源を絶つ

あんこうメディカルクリニックは、都心のターミナル・池袋駅のすぐそばという利便性の高い立地にあり、外来だけではなく人間ドックや企業検診も行っている。

「僕は100%じゃないと気が済まないんですよ」安康晴博院長は自らのこだわりを語り、ピロリ菌の除菌を進めてきた背景についてこう説明する。「ピロリ菌の除菌を本格的に始めたのは1994年ですが、その前も積極的に取り組んでいました。きっかけは、アメリカのNIHコンセンサス会議です。すべてのピロリ菌陽性の消化性潰瘍は、初発・再発を問わず除菌すべきであると結論づけられたときに、そんな治療があるのかと衝撃を受けたんですよ。で、

実際に取り組んでいくにつれて、これはいけると確信を持つようになりました。僕がもともと外科医だったというのもあるんでしょうけど、残すのがきらいなんです。根本的な治療をしたい。ピロリ菌って除菌すれば胃の病気の根源を絶つことができるでしょ。これは面白いと思ったわけです」。

オリジナルの 5剤併用療法変法

抗生物質2剤とPPI（プロトンポンプ阻害薬）1剤の3剤を併用するのが一般的といわれるピロリ菌の除菌方法についても、安康院長はこだわりを持っている。めざしているのは除菌の成功率100%である。

「元自治医科大学主任教授の木村健先生に教えていただいたことをベースに、自分で研究・修正してたどり着い

たのが5剤併用療法変法です。抗生物質4剤とPPI剤の5剤。実際は、それ以外に整腸剤を2剤（ビフィズス菌を中心としたものと乳酸菌を中心としたもの）、エカベトナトリウムという胃潰瘍の薬を加えて8剤を飲んでいただくことになるんですけどね」。



待合室にある大型水槽

